

月刊 星空の散歩道 7月号

2022年

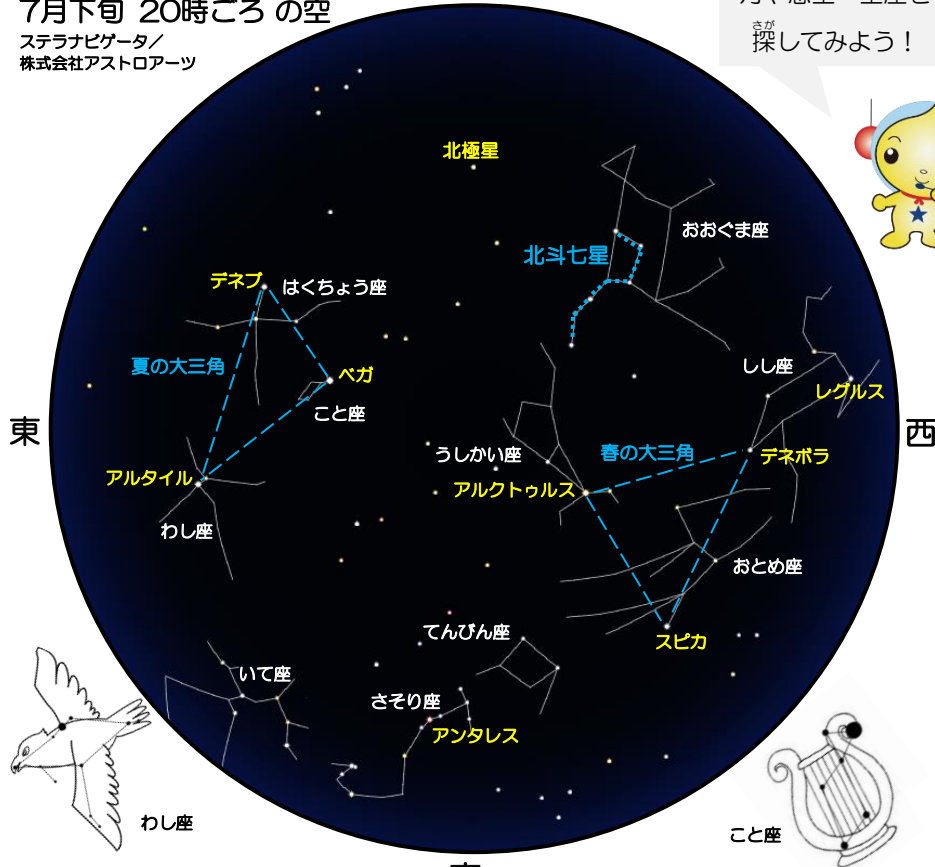
7月上旬 21時ごろ

7月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ

北

月や惑星・星座を
探してみよう!



7月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に春の星座が、南の空と東の空に夏の星座が見えています。

- < 西 > しし座 (レグルス、デネボラ)、おとめ座 (スピカ)
- < 天頂 > うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 南 > さそり座 (アンタレス)
- < 東 > こと座 (ペガ)、わし座 (アルタイル)、はくちょう座 (デネブ)
- < 北 > 北極星、おおぐま座

☆天文トピック☆

7月 7日 七夕

織姫星はこと座の「ペガ」、彦星はわし座の「アルタイル」。夏の空で見つけてみましょう。

7月 7日 小暑

二十四節気のひとつ。暑さが本格的になる頃。

7月 21~22日 月と火星が大接近

真夜中に、月が火星を隠す現象「火星食」がおこりますが、伊丹市での高さはあまりにも低く、見ることは難しいと思われます。食の後、火星は徐々に月から離れていくように見えます。明け方は東の空で月のすぐそばに見える火星を探してみましょう。

☆月の形の変化☆

- 7月 7日 上弦
- 7月 14日 満月
- 7月 20日 下弦
- 7月 29日 新月

☆7月の惑星☆

- 金星…明け方、東の空低く
- 火星…明け方、東の空
- 木星…明け方、南東の空
- 土星…夜中、南の空

<天文コラム> 七夕

7月7日は「七夕」です。「織姫と彦星が一年に一度だけ会える日」という伝説が有名ですが、元々の話は中国から伝わりました。神の衣を織る「織女」と牛飼いの「牽牛」は天の川を隔てて輝く星、こと座の「ペガ」とわし座の「アルタイル」を指しています。

「たなばた」という読み方は日本の古くからある言葉で、機織りをする女性のことを「たなばた」や「たなばたつめ」と呼んでいたようです。漢字には「棚機」や「織女」をあて、これは現存する日本最古の歌集『万葉集』に記載されています。

織女之 今夜相奈婆 如常 明日乎阻而 年者将長 (『万葉集』第10巻・2080番歌・作者不詳)

読み：たなばたの こよひあひなば つねのごと あすをへだてて としはながけむ

意味：織姫は今宵、牽牛と逢う瀬を迎えるが、明日になれば、いつものように、次の七夕がやってくるまで逢えなくなる。その一年はさぞかし長いことだろう。

『万葉集』は7~8世紀に作られた歌が収められており、七夕の伝説は少なくとも1200年以上も前に日本へ伝わっていたと考えられます。長い年月を経て、現在もお親しまれる「七夕」を「ペガ」「アルタイル」を探しながら、楽しんでみませんか。

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2022年6月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

